

愛媛県松山市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和2年11月～令和8年3月】

・愛媛県の県庁所在地である松山市は、四国地方で最大の人口を擁す中核市である。松山城を中心に発展し、道後温泉や俳人正岡子規・文豪夏目漱石のゆかりの地として知られる「いで湯と文学の街」でもある。

・人口 約50万9千人(R2.1.1時点推計人口)、面積約429km²

【前期計画(平成26年11月～令和2年10月)の概要】

前期計画による成果と総括について記載

- 長年の懸念であった「旧ラフォーレ原宿・松山」跡地に新たな複合商業ビルが開業し、周辺の地価は上昇、歩行者通行量も増加した。
- 予想を上回る人口減少や事業延期等により居住人口は減少した。

【中心市街地の課題等】

○来街者の回遊性の向上

賑わい具合に差があることから、駅前広場整備や再開発事業等によって新たな賑わいスポットの整備・充実を図り、回遊性向上に取り組む。

○観光コンテンツの充実

旅行市場へのプロモーション・松山市のPRにより国内外から誘客に取り組むほか、観光資源の磨き上げにより観光客の満足度向上を図る。

○高質で豊かな居住環境の形成

自然減(死亡)に加え、ここ数年は社会減(転出)によって人口が減少していることから、土地区画整理事業や再開発事業等により、都心ならではの高質で豊かな居住環境の形成に取り組む。

【目指す中心市街地の都市像】

職・住・遊の近接で豊かな生活が実現されたまち

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※(1)は目標値の達成見込
訪れたい都心としての機能強化	中央商店街の歩行者通行量(※1)	127.9千人(H25)	170.6千人(R2)	146.3千人(R1:未達成)
都市型観光地としての魅力向上	中心市街地内の観光施設入込客数	1,710千人(H25)	1,810千人(R2)	1,845千人(R1:達成)
安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実	中心市街地内の居住人口	18,091人(H25)	18,600人(R2)	18,033人(R1:未達成)

※1 11月の日曜日8地点の合計、午前10時から午後8時まで(10時間)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
来街者の回遊性向上による賑わい創出	中央商店街の歩行者通行量(※1)	48.7千人(R1)	50.3千人(R7)
観光コンテンツの充実による満足度の向上	観光施設利用者数(※2)	1,845千人(R1)	1,974千人(R7)
高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進	居住人口の社会増減数(※3)	308人(H26～R1)	561人(R2～R7)

※1 平日と休日(各1日)3地点の合計、午後0時から午後4時まで(4時間)

※2 市有観光5施設[松山城天守閣、道後温泉(本館・椿の湯・飛鳥乃湯泉)、子規記念博物館、坂の上の雲ミュージアム、二之丸史跡庭園]の年間入場者合計

※3 計画区域に転入した人口から区域外に転出した人口を差し引いた数

来街者の回遊性向上による賑わい創出

【主要事業】

- ・市駅前広場整備事業
- ・商店街空洞化対策事業・あきんど事業
- ・湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業など

観光コンテンツの充実による満足度の向上

【主要事業】

- ・瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業
- ・クルーズ船誘致・受入推進事業
- ・道後温泉本館保存修理工事を活用した観光資源化事業

など

高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進

【主要事業】

- ・松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業
- ・湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業(再掲)
- ・一番町一丁目・歩行町一丁目地区第一種市街地再開発事業

など

松山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

来街者の回遊性向上による賑わい創出

①市駅前広場整備事業

本市のターミナル駅である松山市駅の駅前広場を改変し、従前より広場空間を広く確保することで、賑わいを創出し歩行者の回遊活性化を図る。



②商店街空洞化対策事業・あきんど事業

空き店舗を活用した商店街活性化施策を行う商店街組織や空き店舗への新規出店者に対して、店舗改修費用や家賃補助の支援を行う。

③湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業

商業施設・マンション・駐車場・広場等を備える新たな賑わいスポットを整備する。

観光コンテンツの充実による満足度の向上

④瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業

瀬戸内の周辺自治体や周辺海運会社、JRで構成する「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を中心に、旅行市場への戦略的なプロモーションや旅行商品の開発を行い、旅人口の拡大を図る。



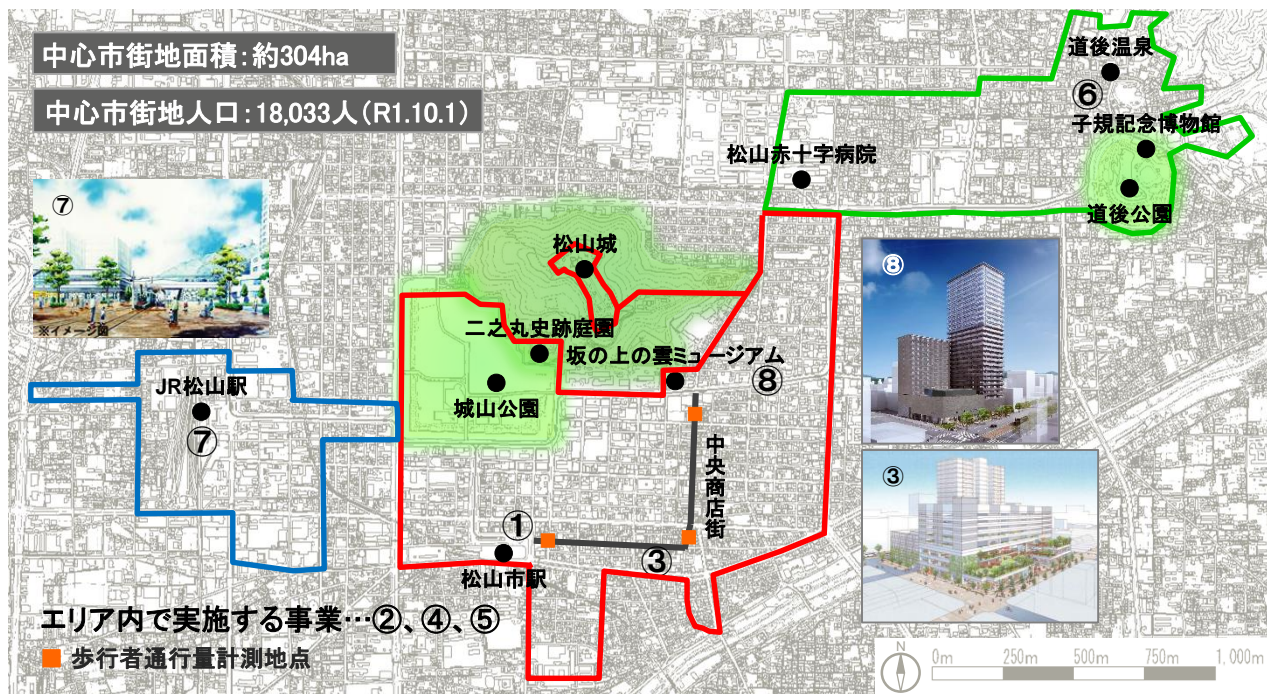
⑤クルーズ船誘致・受入推進事業

外国の船会社に対する商談会等に参加し、松山の魅力を積極的にPRすることで、松山港に寄港するクルーズ船の誘致に取り組む。



⑥道後温泉本館保存修理工事を活用した観光資源化事業

工事期間中ならでの取組みとして、手塚治虫のライフワークと言える「火の鳥」とコラボレーションした道後REBORNプロジェクト(プロジェクトマップ等)を展開し、国内外から誘客を図る。



高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進

⑦松山駅周辺土地区画整理事業・松山駅周辺まちづくり事業

道路や公園等の都市基盤施設を整備し、安全で暮らしやすい環境を整える。

③湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業 (再掲)

⑧一番町一丁目・歩行町一丁目地区第一種市街地再開発事業

ホテル・商業施設・マンション・駐車場・広場等を備える新たな賑わいスポットを整備する。